

光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2015年4月号>

97号 2015.4.1 配信

桜の開花宣言の後、一挙に満開となり、学内のうこん桜が私たちの目を楽しませてくれております。人見楠郎先生がお好きだった諸葛菜も、学内のあちこちに咲いています。ひそやかで控えめで、しかし、しっかりとした存在感のある美しい薄紫色の花は、各方面でそれぞれの力を十二分に発揮する同窓生の姿そのもののようです。

昭和学園も、大学・中高部・初等部・幼稚部にそれぞれ新入生を迎え、喜びと活気あふれる新年度のスタートを切りました。こども園開設に向け、建物の工事が急ピッチで進められています。新たな試みに向かって活気あふれる母校と共に、今年度も、いろいろな花を咲かせてまいりましょう。

■ 学園だより

- 4月2日（木）入学式

■ 同窓会便り

- 3月28日（土）小学校教職員ワーキングネットワークを開催しました。

大学の先生方、現職の小学校教員を含め37名が集まりました。

- ◆ 第1部 講演 「これから小学校教員になるみなさまへ」

東京都調布市立調和小学校校長 山中ともえ先生

障害を持つ子どもたちと共に歩まれたご経験をもとに、子どもたちとのかかわり方、保護者との関係の作り方など、教師としての心構えをお話しいただきました。

春から新しい職場で教員生活を始める新卒者にとっても教育現場とはちがった場所で活躍する同窓生にとっても、それぞれの場所でいかせることが豊富な講演に、参加者は、大きくうなずきながらお話を伺いました。あっという間の1時間でした。

- ◆ 第2部 激励会

新年度から教職に就く新卒者に向けて、参加者から激励の言葉が寄せられました。

軽食を囲みながら行われた懇親会は、和やかで、開催された日の日和そのものの、心温まる会となりました。

- 幹事会のお知らせ

- ◆ 4月18日（土 13:00～16:00）学園本部館3階大会議室で開催されます
幹事の皆様ご予定ください。

「広げよう光の葉」

荘司 桃子さん

1985年 短期大学部食物学科卒業

卒業して30年近く経ちました。現在は市内の医院に勤務して10年になります。今思えば栄養士の資格を持っていてよかったと思います。食に関する事が好きなのと資格が取れるから入学を決めました。

昭和女子大学の寮に2年間お世話になり、大体のことは我慢できるようになりました。ほとんどの人が1年で寮を出て一人暮らしをしているのを羨望の眼差しで見ていたのを思い出します。でも、2年間で協調性・集団生活の厳しさや大切さ・後輩の指導等社会に出てからの基本を学ぶことができ、非常に有意義な時間でした。

食品関係の団体に就職し、その後、転職・結婚・出産・子育てを経験し、再び社会復帰しています。

今の職場は出産後入社しました。子供が小さい時は、具合が悪くなると主人（自営業）にお願いし、子どもを病院に連れて行ってもらいました。主人は育児に積極的でしたので助かりました。感謝しています。また、実母・義母にも頼みました（私は実家から近所に嫁ぎました）。

家族の協力がなければ、長く勤務できていなかったと思います。

医療事務と栄養士を兼ねて入りましたが、学生時代の資格がまさか役にたつなんて思ってもいませんでした。はじめはとても忙しく大変でしたが、この10年走り続け、あっという間でした。今は受付・会計業務に携わっています。その中で思うのは、今までのいろいろやってきた小さな仕事や経験が、今の自分の糧になり、無駄なことはないのだと感じています。

目標はあと10年頑張ること。そのためには体調管理・維持が大切だと思います。

そして、成長していく子供の姿を末永く見届けたいと思っています。

End

2015年度 第42回 総会・シンポジウム公開講座・懇親会 ご案内

5月17日（日） 10:30～15:45 会場 ホテルメトロポリタン仙台

第1部 総会 10:30～11:15

第2部 公開シンポジウム 11:30～13:00

「女性が変わる東北の未来、日本の未来

～地域活性化に欠かせない女性の役割～」

基調講演 昭和女子大学学長 坂東 眞理子先生

シンポジウム 福島民報社、河北新報社、岩手日報社、
学長 坂東眞理子、同窓会長 横井千香子

第3部 懇親会 13:45～15:45

4月発行の同窓会報に同封されている葉書で、総会への出席等ご連絡ください。4月30日必着でお願いいたします。